

地域県土警察常任委員会資料

(令和 8 年 1 0 月 8 日)

[件 名]

- 鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について
【県民課】・・・2 ページ
- 「CATCH the STAR ミュージックフェス（星フェス）2026」の開催について
【文化政策課】・・・4 ページ
- 鳥取県立美術館の秋の展覧会ラインナップについて
【美術館】・・・5 ページ
- 第 2 回鳥取県立美術館集客対策会議の開催結果について
【美術館】・・・7 ページ
- 鳥取県営東山水泳場の指定管理者募集要項（案）の概要について
【スポーツ課】・・・9 ページ
- 第 20 回アジア競技大会における鳥取県出身日本代表選手の結果について
【スポーツ課】・・・11 ページ
- とっとり弥生の王国フェスタの開催等について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・12 ページ

地域社会振興部

鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について

令和8年10月8日

県民課

「輝く鳥取創造総合戦略」に掲げる政策をはじめ、県政全般の満足度などについて県民にアンケートする「鳥取県の政策に関する県民意識調査」(第11回)を実施しましたので、その結果について報告します。

1 調査概要

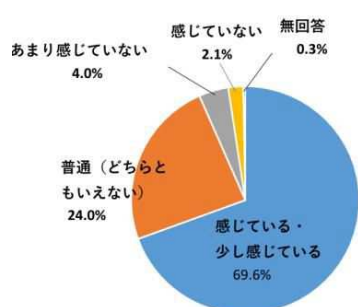
- (1) 目的 県民の関心や意向、要望等の意識を把握するとともに、継続調査をすることで、その意識の変化を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活用する。
- (2) 調査対象 県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名(住民基本台帳に基づく無作為抽出法)
- (3) 調査方法 郵送(回答は調査票の返送又は電子申請サービスによる回答のいずれかを選択)
- (4) 調査期間 令和8年6月25日から8月19日まで
- (5) 回答数 1,523名(回答率:50.8%(令和7年度比2.4ポイント減少))

2 結果概要

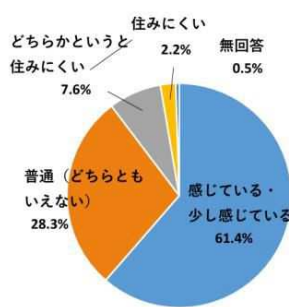
I 鳥取県の住みやすさ

- ①「鳥取県に対しての愛着や誇り」には、69.6%の人が「(愛着や誇りを)感じている・少し感じている」と回答し、「今暮らしている地域の住みやすさ」には、61.4%の人が「とても住みやすい・どちらかというと住みやすい」と回答した。いずれも高い水準ではあるものの、令和2年度以降やや減少傾向にある。
- ②「鳥取県の暮らしに関してどう思うか」10項目について聞いたところ、「そう思う」との回答は「豊かな自然環境に恵まれている」が90.2%と11年連続で最も高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が62.5%であった。
- ③鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか(10段階評価、10が「とても幸せ」)を聞いたところ、「5」(普通)が27.5%、次いで「7」が19.3%で、「5」以上の回答は88.6%と全体の約9割を占め、前年度(89.4%)に引き続き高い割合となった。

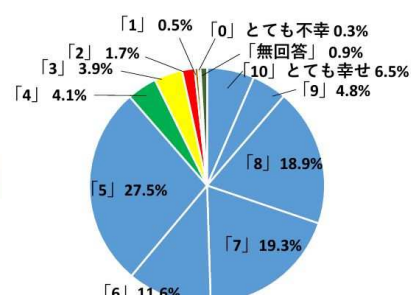
鳥取県に対して愛着や誇りを感じている



今暮らしている地域の住みやすさ



鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度

- (1) 鳥取県が実施している施策等に関し、①～③のテーマごとに満足度(5段階)及び今後の優先度(重要度が高い取組を3つ選択)について質問した。

①豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

7つの取組について聞いたところ、満足度(「満足」と「やや満足」の計。以下同じ。))は「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が37.4%と最も高かった。今後優先すべき項目は「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が63.8%と最も高く、次いで「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が61.7%であった。

②人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

7つの取組について聞いたところ、満足度は、「日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進」が26.1%と最も高く、今後優先すべき項目は「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」が62.6%と最も高かった。

③幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

6つの取組について聞いたところ、満足度は、「防災・減災対策の強化」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が18.8%と同率で最も高く、今後優先すべき項目は「県内産業の持続的発展をめざす取組」が56.5%と最も高かった。

④男女共同参画社会づくり

男女に関する役割などについて8つの項目について聞いたところ、「そう思う（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の計。以下同じ。）」と回答した人は、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」がいずれも約8割、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」は約7割であった。

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策について8つの施策を提示したところ、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が58.6%と8年連続で最も高かった。

⑤性別に関するアンコンシャス・バイアス

性別に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）について、5つの項目について聞いたところ、「そう思う」と回答した人は、「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が68.8%と最も高く、次いで「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が47.4%であった。

性別による生きづらさを感じたことがあるかについて聞いたところ、「ある」が24.5%、「ない」が48.9%であり、どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されると思うか聞いたところ、「家庭と仕事を両立しやすい環境」が62.5%と最も高く、次いで「性別に関係なく自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」が55.3%であった。

Ⅲ 重点施策への関心・認識 鳥取県の人口減少対策について

人口減少が続いていく状況についてどう思うか、6つの項目について聞いたところ、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が39.9%と最も高く、今後強化すべき施策は「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」が39.9%と最も高かった。

また、人口減少で影響があると考えられる分野について、9つの分野の関心度について聞いたところ、「地域集落や地縁団体（自治会、町内会等）による地域住民同士の助け合いへの影響」が12.6%と最も高く、次いで「人と人との出会いや結婚の機会への影響」が9.1%であった。

3 今後の活用

アンケート結果は、庁内各課と共有し、各種会議のほか、今後の施策の立案や評価・見直し等の過程において基礎資料として活用する。

「CATCH the STAR ミュージックフェス（星フェス）2026」の開催について

令和8年10月8日
文化政策課

県内の中・高校生等が出演する「CATCH the STAR ミュージックフェス（通称：星フェス）2026」を10月25日に開催しますので、報告します。

開催概要

（１）目的

ポップス・ロックバンドなど、様々な音楽活動を行う県内の中・高校生が日頃の活動の成果を発表し、挑戦やステップアップにつながるミュージックフェスを開催し、特に若年層を中心とした県内の音楽活動の活性化と拡大を図るとともに、音楽活動に携わる人材の発掘や音楽活動を通じた人材育成につなげる。

（２）日時・会場

令和8年10月25日（日）13:30～17:30（開場：13:00）エースバック未来中心 大ホール（入場無料）

（３）出演者

23組の応募の中から予選審査を通過した15組・30人（R7：15組・35人）

- ・ヴォーカル部門：5組・6人（中学生4組、高校生1組）
- ・演奏・バンド部門：10組・24人（中学生4組、高校生5組、中学・高校生1組）

＜出演者募集結果（概要）＞

○応募総数：23組（ヴォーカル部門6組、演奏・バンド部門17組）

（R7応募総数：25組 ヴォーカル部門9組、演奏・バンド部門16組）

- ・参加対象：県内の学校に通う中・高校生又は県内在住の高校生年齢の方
- ・募集部門：①ヴォーカル部門（カラオケ・アカペラ等）※歌唱力や表現力を評価
②演奏・バンド部門（バンド、弾き語り、インスト等）※技術力や表現力を総合的に評価
- ・募集期間：5/28（木）～8/24（月）

○今年度の応募者の特徴

- ・中部開催ということもあり、中部からの応募が増加。（R7：5組→R8：8組）
- ・昨年の経験が糧になったとして、昨年度「星フェス」出場者から複数の応募（9組）
- ・昨年本選出場とはならなかったものの今年度も継続して応募（3組）
→3組とも本選出場

（４）特典等

参加者全員に記念品を配布。ベストパフォーマンス賞（演奏・バンド部門）、ヴォーカル部門賞（ヴォーカル部門）、オーディエンス賞（会場投票）及びベストプレイヤー賞（個人賞）には別途特典を贈呈。

（５）ゲストアドバイザー

- ・田川ヒロアキ氏（全盲のロックギタリスト。東京パラリンピック開会式、EXP02025 大阪・関西万博への出演等。）
- ・西尾 Bun 博文氏（鳥取市出身。プロベーシスト。アレンジャーとして関西を中心に活動。）
- ・初田悦子氏（ソロアーティストとして活動するシンガー。ボイストレーナーとしても活動。）
- ・畑啓介氏（兵庫県丹波篠山市出身。大学在学中にメジャーデビュー。現在はヤマハのドラム講師としても活動。）

※出演者にはプロミュージシャンからのアドバイスをもらい、更なる成長や今後の活動に繋げてもらう。

（６）ゲスト演奏

- ・田川ヒロアキ氏、西尾 Bun 博文氏とサポートメンバーの畑啓介氏、織谷ひろこ氏によるスペシャルバンド。

（７）司会

- ・岡村 尚子氏（日本海テレビ「スパイス!!」などにリポーターとして出演中。）

（８）主催

CATCH the STAR ミュージックコンテスト実行委員会（事務局：文化政策課）

応募者の声

- ・去年、先生にこのイベントを紹介されて出演してみて凄く楽しかったし、他の参加者のパフォーマンスを見たり聞いたりして凄く勉強になったし、自分の夢のための経験にもなるからです。
- ・歌を習っていて同じ生徒の人達が挑戦していて、自分もやってみたいなと思った事と、この大きなステージに自分で立ってみたいと思ったからです。
- ・毎年応募していて今年こそは本選に出て、賞を取りたいから。
- ・昔からずっと音楽が好きで将来歌手になるため日々練習に励んでいます！
- ・第1回から出場させていただき、今年も絶対星フェスのステージに立ちたいと思い応募しました。レベルアップした歌を色々な方に聞いていただき、ひとりでも多くの人の心に残るような歌を届けたいです！！
- ・メンバー全員小学校の頃から、バンド活動に興味を持っていたけれど、活動が出来ておらず、今回星フェスを見つけて出場したいと思い、応募しました。

鳥取県立美術館の秋の展覧会ラインナップについて

令和8年10月8日 美術館

鳥取県立美術館では、芸術の秋を県民の方々に楽しんでもいただけるよう、以下のとおり企画展及びコレクション展を開催します。これらの展覧会を通じて、県民の皆様に美術に親しんでいただくとともに、鳥取県の文化芸術の魅力を県内外に発信してまいります。

1 【企画展】「生誕130年 前田寛治 ―ポエジイとレアリスム― 一九三〇年協会設立100年」

(1) 会 期：10月10日(土)～12月13日(日)

※休館日：月曜日(10月12日、11月23日を除く)、10月13日、11月24日

(2) 主 催：前田寛治展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、TSKさんいん中央テレビ)
NHKエンタープライズ中国

(3) 協 賛：倉吉ワイナリー、桑田醤油醸造場、絵画買取・美術品買取専門店 猿

【前田寛治(1896-1930)】

生 誕：1896年(33歳で早世)

出身地：鳥取県東伯郡中北条村(現 北栄町) 国坂

経 歴：

- ・東京美術学校にて油彩画の基礎を身につけた後、パリへ留学。2年5カ月に渡って同地に滞在する中で、西洋絵画史の伝統を踏まえた上で、独自の写実観(レアリスム)を体得。
- ・帰国後、帝展に出品した婦人像や裸婦像の大作が評価され、瞬く間に画壇の寵児となる。33歳で早世するまで、情熱的で真摯に絵画制作や後進指導に取り組み続けたその姿勢は同時代の若き画家たちの奮起を促し、一時代を牽引する大きな存在として近代洋画史に名を刻む。

【関連イベント】

■ワイン・テイस्टینگイベント「ワインを片手に、寛治に想いを。」

⇒前田家旧農地で育まれた葡萄で造ったワインを飲みながら、寛治の作品について語らう大人の夕べ。

寛治の絵画作品とワインのマリアージュをお楽しみいただきます。

【日時等】10月10日(土)

【会場等】①16:00～ 担当学芸員によるギャラリートーク (場所：3F 企画展示室)

②17:00～ ワインテイस्टینگ&ゲストトーク (場所：1F カフェ GARDEN)

【ゲスト】 今村憲治 氏(いまむらワイン&カンパニー 代表)

水谷芳樹 氏(ホテル星取テラスせきがね ソムリエ)

■4週連続 特別講演会

⇒前田寛治をめぐるトピックについて、4名の美術史の専門家に様々な切り口でお話しいただきます。

【第1回】「駆け込み、描く―前田寛治の現在」

講師：水沢 勉 氏(美術史家・美術評論家、元 神奈川県立近代美術館館長)

日時：11月15日(日) 14:00～15:30 会場：1F ホール

【第2回】「寛治さん宛の書簡502通を読んで―画家の心の中と画面の裏側が観えた―」

講師：三谷 巍 氏(前田寛治研究者)

日時：11月21日(土) 14:00～15:30 会場：1F ホール

【第3回】「前田寛治と西洋絵画(仮)」

講師：三浦 篤 氏(公益財団法人大原芸術財団 大原美術館館長)

日時：11月28日(土) 14:00～15:30 会場：1F ホール

【第4回】「前田寛治と一九三〇年協会(仮)」

講師：田村允英 氏(和歌山県立近代美術館学芸員)

日時：12月6日(日) 14:00～15:30 会場：1F スタジオ2・3

■アコースティック・ライブ「ポエジイな夜」

⇒前田寛治が絵画に「ポエジイ(詩)」を求めたように、独特の詩作を音楽にのせて聞く人を魅了する弾き語りライブ。

【日時等】11月22日(日) 17:30～20:00

【ゲスト】 池間由布子(いけまゆうこ)、oono yuuki

【会 場】1F ひろま

《二人の労働者》1923 年 油彩・カンヴァス 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館蔵 ・2年半のパリ留学中に制作した“労働者”を主題とする作品群のうちの代表作。 ・1920年の米国史上最大の冤罪事件と言われる「サッコとヴァンゼッティ事件」に取材した作品。 ・同郷の同窓生で思想家の福本和夫とパリで再会し、その影響を強く受けて構築した独自の写実観が発揮された力強い画面。 ・二人を取り巻く社会の不条理を強く訴える画面構成と心理描写に引き込まれる優品。	
《棟梁の家族》1928 年 油彩・カンヴァス 鳥取県立美術館蔵 ・1928年にアトリエ付きの家を新築した際、大工の棟梁の家族をモデルに描いた作品。 ・前田自身と長男の棟一郎に重ねており、自身の家族の肖像ともなっている。 ・自身の写実研究のひとつの区切りとなった、画業を代表する大作。	

2 【コレクション展】「特集：前田昭博」 「ヌード —裸体表現のあれこれ」

- (1) 会 期 9月19日(土)～12月13日(日)
※休館日：月曜日(9月21日、10月12日、11月23日を除く。)、9月24日、10月13日、11月24日
- (2) 会 場 コレクションギャラリー3
- (3) ギャラリートーク 9月26日(土) 14:00～

＜特集：前田昭博＞ ・制限された要素のなかに豊かさを秘める白磁の逆説的な可能性に着目し、現在まではば一貫して前田氏がその表現を追究してきた白磁の作品を展示。 ・日本陶芸展や日本伝統工芸展など様々な公募展で高い評価を得て、「光と影の造形」「用的立体」などと評される前田氏の作品を紹介する。 ※前田昭博： 本県を代表する陶芸家。鳥取県在住者として初めて、国指定重要無形文化財。「白磁」の保持者(いわゆる人間国宝)の認定を受けた。	 前田昭博 《白瓷面取鉢》2003年鳥取県立博物館蔵
＜ヌード —裸体表現のあれこれ＞ ・県立美術館のコレクションから「裸体」を主題とした作品を厳選して展示。 ・古代から現代に至るまで、美術史において多様な展開を見せてきた「裸体」の表現に焦点を当て、立体、絵画、写真など、さまざまな素材や技法によって表現された裸体の魅力を紹介する。	 やまもと かねふみ 山本 兼文 《少年像(少年(荃里)の像)》／鳥取県立美術館蔵

3 【コレクション展】小早川 秋 聲 月の世界旅行

- (1) 会 期 10月17日(土)～12月20日(日)
※休館日：月曜日(11月23日を除く。)、11月24日
- (2) 会 場 コレクションギャラリー5
- (3) ギャラリートーク 12月5日(土) 14:00～

中国各地をはじめ、ヨーロッパ、中東、インド、東南アジア、さらには北米大陸を横断するなど、世界各地を旅した小早川秋聲。その画業の中でも特筆される「月」と世界各地の名所を組み合わせ描いた一連の小画面作品を展示。 ※小早川 秋 聲(1885-1974) 鳥取県ゆかりの日本画家で、大正から昭和中期にかけて活動した。文展・帝展を中心として活躍、今日では「國之楯」を始めとする戦争画で知られている。	 こばやかわ しゅうせい 小早川 秋聲 《エジプト カル ナックアイシス宮殿趾の月》大正期-昭和初期 鳥取県立美術館蔵
--	---

第2回鳥取県立美術館集客対策会議の開催結果について

令和8年10月8日

美 術 館

第2回鳥取県立美術館集客対策会議を10月2日（金）に開催し、第1回目会議でいただいたご意見に対する県及びPFI事業の検討状況や県民参画電子アンケートの結果、各参加団体から美術館と協力いただける取組等のご提案などについて意見交換を行いましたので報告します。

これまでいただいたご意見をもとに、集客対策について美術館として整理・集約し、次回第3回会議（最終回）では、令和9年度以降の集客対策案について提示する予定としています。

1 日時及び場所

日時：10月2日（金）午後3時30分から午後5時

場所：鳥取県立美術館 1階ホール

2 主な意見

【広報に関すること】

- ・県とPFI事業者がもっと連携して一体となって事業を行うべき。
- ・美術館情報を知らない県民がこれだけいるのであれば、広報戦略の工夫が必要。
- ・チラシの送付だけではなく、実際に顔を合わせることで、地域との関わりが深まると思う。
- ・令和9年度まで企画展が決まっている中であっても、集客力を高めるためには、周辺（関連プログラム等）の魅力向上や情報発信が重要。
- ・広報として、県政だより、新聞折り込みや観光素材集への挟み込みチラシもよいと思う。
- ・SNS発信は、何かのきっかけ（投稿が注目を集める、バズる）になるまで、継続していくことが重要。

【企画展に関すること】

- ・現代アートに固執しているように見える。現代アートが足かせになっているのでは。
- ・魅力的な企画展なら、たとえ遠くても足を運ぶ。

【魅力向上に関すること】

- ・県西部のある観光施設が、オープンの際に、バスの運転手や添乗員のもてなし（お茶出し、休憩所等）を実施し、業界内での口コミによる広報宣伝を行ったと聞いている。
- ・倉吉市は、以前「トイレのまち」で売り出していた。お土産「天女の忘れもの」もテレビ局の取材が来るなど話題となった。企画展など中身はもちろんだが、周辺の魅力づくりにもフォーカスすべき。
- ・もうちょっと冒険してみてもどうか。美術館の枠を外れて、多少尖ったことをしないと集客につながらない。
- ・今は生みの苦しみ。青山剛昌ふるさと館も15年くらい前まではあまり注目されていなかったと思う。きっかけをつかむまであきらめずに挑戦してほしい。
- ・県立美術館が「行ったら楽しそうだな」と思われるような、行きたいと思わせる魅力づくり、情報発信を行わないといけない。
- ・実際に触れたり、製作体験があるとなお良いと思う。
- ・写真映えになるようなものがないなら、意図的に作り出さないといけない。

【その他】

- ・コンベンションは数年前から誘致に取り組んでいる。美術館の貸館（会議、懇親会等）において受付期間外（数年先）であっても柔軟な対応をお願いできたらありがたい。
- ・中長期のロードマップは必要。例えば2年目は落ち込んでも、短期的に一喜一憂しなくてもよいのではないか。
- ・県立美術館のみなさんは頑張っていると思うので、「この部分で困っている」「手助けしてほしい」等といった声があれば、地域は応援する。もっとフランクに声をかけてほしい。
- ・年間パス（県内外の美術館等とも提携なども含む）のような取組を検討してほしい。
- ・集客力につなげるため、ポップでライトな層の取り込みも検討してほしい。

- ・子どもがミュージアム・スタート・バスの取組で美術館に招待され、楽しかったと聞いたが、もう1回行きたいという子どもの声はなかった。美術の授業との連携や体験ができる場があればよい。
- ・秋は倉吉市内各地区で作品展をしているので、美術館を使ってもらよう働きかけるため、もう少し使いやすい貸館料金の工夫も必要。

3 参加者

区 分	氏 名
コンベンション・貸施設	とっとりコンベンションビューロー 常務理事兼事務局長 木下 剛夫
観光	鳥取県観光連盟 専務理事 岡山 佳文
	鳥取中部観光推進機構 会長 中島 伸之
地域	とっとり県美応援団 団長 佐伯 健二
	倉吉市自治公民館連合会 会長 明里 利彦
	ヒナドリラボ(倉吉市文化活動センター管理責任者) 代表 三上 大輔
まちづくり・経済団体	倉吉商工会議所 専務理事 岩本 善文
	倉吉商工会議所青年部 会長 河野 有兵
	倉吉商工会議所青年部 小林 秀治
	株式会社 赤瓦 取締役 平 真
オブザーバー	倉吉市(経済観光部観光交流課)

【参考】利用者数の推移

	第1 四半期 (～6/30)	第2 四半期 (～9/30)	第3 四半期 (～12/31)	第4 四半期 (～3/31)	合 計
開館1年目	120,766 人	99,083 人	61,357 人	36,453 人	317,659 人
2年目	43,440 人	51,404 人	2,050 人 ※10月5日時点		96,894 人

鳥取県営東山水泳場の指定管理者募集要項（案）の概要について

令和8年10月8日
スポーツ課

鳥取県営東山水泳場について、令和9年度からの管理運営を行う指定管理者の募集要項（案）の概要について報告します。なお、募集要項は鳥取県地域社会振興部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下、「審査・運営評価委員会」という。）にて審査され、特段の意見はなかったことから、本予算のご承認後、指定管理者の募集を開始します。

1 現在の指定管理者

施設名	住所	現指定管理者 (指定管理期間：R4.4.1～R9.3.31)
鳥取県営東山水泳場	米子市東山町92	(一財)鳥取県水泳連盟・(公財)鳥取県スポーツ協会 共同企業体（公募）

2 指定管理者が行う業務

(1) 業務内容

- ア 施設設備の維持管理に関する業務
- イ 施設の利用許可、施設利用料の徴収等に関する業務
- ウ スポーツ教室等のスポーツの振興普及に関する業務
- エ その他施設の管理運営に必要な業務
- オ 障がい者が利用しやすい施設運営及び障がい者スポーツの普及振興に係る事業の実施
- ※ (公財)日本スポーツ協会が設置する「国スポ改革タスクフォース」において、令和9年6月に国民スポーツ大会の見直しの最終とりまとめが予定されているため、令和11年度以降は当該まとめに基づく施設基準の見直し等に沿って、業務内容等を年度協定で定める。

(2) 管理の基準（基本的事項）

- ア 開館時間、休館日、利用料金等は、あらかじめ知事の承認を得て決定する。
(※なお、利用料金は現行の金額を標準とする。)
- イ 施設の利用の許可・制限は、以下の条例に基づいて行う。
 - ・鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例

3 利用料金等の取扱い

施設利用料や利用者へのサービス提供に伴う収入は、指定管理者の収入とする。

4 指定管理料

県は、指定期間中の管理運営に必要な経費として、次に記載する額を上限として、指定管理料を支払う。なお、3年目以降の指定管理料については年度協定により定める。

令和9～10年度の2年間の指定管理料総額（円）	うち消費税及び地方消費税
94,144,000	8,558,545

なお、急激な物価上昇に対応するため、募集時の指定管理料には燃料・光熱費を含めず、物価指数等を考慮して算定した指定管理料を毎年度追加で予算措置し、別枠の指定管理料として県が負担する。

5 指定期間

令和9年4月1日～令和14年3月31日〔5年間〕

6 応募資格

鳥取県内に主たる事務所を置き、又は置こうとする法人等であること。

7 募集等に係るスケジュール（予定）

- (1) 募集の開始 令和8年10月下旬
- (2) 募集の締切 令和8年12月中旬
- (3) 指定管理候補者からの提案書等の審査 令和8年12月下旬
- (4) 審査結果の通知・公表 令和9年1月下旬
- (5) 指定管理者の指定 令和9年3月下旬（議会の議決を経て行う。）

8 指定管理者の選定方法等

(1) 選定方法

学識経験者等で構成する審査・運営評価委員会を開催し、面接審査等により指定管理候補者を選定する。

(2) 審査委員会委員

学識経験者、税理士、当該施設に関する有識者〔計4名〕

(3) 選定基準

選 定 基 準	審 査 項 目	配 点
施設の平等な利用を確保するのに十分なものであること。 (指定手続条例第5条第1号)	○管理の基本的な考え方の適合性 (施設設置目的の理解、指定管理者となることを希望する理由、管理運営の方針等)	配点なし ※平等な利用が確保できないと認められる場合は失格
施設の効用を最大限に発揮させるものであること。 (指定手続条例第5条第2号)	○施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容 (サービス向上策、事業の企画、利用促進策等) ○管理の基準 〔開館時間、休館日、利用料金等の設定〕 〔個人情報保護、情報の公開〕 ○施設設備の維持及び衛生管理の水準 ○事故・事件の防止措置、緊急時の対応 ○スポーツの普及振興への理解 ○スポーツの普及振興事業の企画力 ○障がい者に優しい施設利用への理解力 ○障がい者スポーツの普及振興事業の企画力	65点
管理に係る経費の効率化が図られるものであること。 (指定手続条例第5条第2号)	○収支計画及び見積内容 ○県の指定管理料額(又は県への納入額)の多寡	20点
管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること。 (指定手続条例第5条第3号)	○組織及び職員の配置等 ○法人等の財政基盤、経営基盤 ○現在の施設職員の継続雇用に関する方針 ○関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況 ○個人情報の漏えい等の有無 ○法人等の社会的責任の遂行状況 〔障がい者雇用 男女共同参画推進企業の認定等 ISO14001・TEAS I 種規格等の認証等 あいサポート企業等の認定等、家庭教育 推進協力企業〕 ○当該施設の管理運営状況の実績評価	36点

※ 指定手続条例：鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例

- ・利用促進等に係る民間の創意工夫ある提案を促進するため、「施設の設置目的に沿ったサービス・事業の内容」を評価する項目の配点を他の配点項目と比較して高く設定。(65点/121点)
- ・本県の重視するポイントに沿った具体的な提案を促進するため、審査に係る配点を示した審査基準を募集開始時に公表する。

第20回アジア競技大会における鳥取県出身日本代表選手の結果について

令和8年10月8日
スポーツ課

愛知県名古屋市を中心に開催された第20回アジア競技大会での鳥取県出身選手等の成績について、出場選手全員が入賞されましたので報告します。

【大会概要】

大会名：第20回アジア競技大会
大会期間：9月19日（土）～10月4日（日）
開催地：愛知県名古屋市ほか
競技：43競技469種目
本県出身選手：6名 ※銀メダル2名、銅メダル2名、その他入賞2名

1 本県出身選手の成績

成績	氏名	出身地	競技（種目等）	所属	試合日程
銀メダル	ふなざわ なつこ 船澤 夏子 (双子の姉)	米子市	セーリング (29er級女子)	米子東高	第1レース：9月26日 第12レース：10月2日
	ふなざわ なつみ 船澤 夏美 (双子の妹)				
銅メダル	とみた ちあき 富田 千愛	米子市	ローイング (女子軽量級ダブルスカル)	戸田中央総合病院	予選：9月21日 決勝：9月23日
銅メダル	みかみ きやか 三上 紗也可	米子市	水泳／飛込 (女子3m飛板飛込)	鳥取県スポーツ課	予選・決勝：9月30日
4位	ふるた なおき 古田 直輝	南部町	ローイング (男子クォドルプル)	NTT東日本	予選：9月22日 決勝：9月24日
7位	はやし かりん 林 かりん	北栄町	スポーツクライミング (女子スピード)	鳥取県山岳・スポーツクライミング協会	予選・決勝：9月30日

2 本県出身日本代表監督・コーチ（スポーツ課で把握している範囲）

成績	氏名	競技名	役職	所属
獲得総数6個 (金2、銀3、銅1)	やすい ひろし 安井 博志	スポーツクライミング	監督	日本山岳・スポーツクライミング協会
獲得総数4個 (銀2、銅2)	やすだ ちまき 安田 千万樹	水泳（飛込）	監督	鳥取県スポーツ課
獲得総数4個 (金1、銀3)	にしがき ひとし 西垣 仁志	フェンシング（エペ）	コーチ	日本フェンシング協会

<参考：アジアパラ競技大会に出場する本県出身選手のスケジュール>

氏名	出身地	競技（種目等）	競技日程・会場
みやざき 恵菜 宮崎 恵菜	湯梨浜町	卓球 (クラス4)	10月16日(金)～23日(金) 愛知県スカイホール豊田
のだ あきかず 野田 昭和	鳥取市	自転車 (ロードレース, ロード個人 タイムトライアル)	10月21日(水)～23日(金) 静岡県サイクルスポーツセンター
かわぐち りお 川口 梨央	鳥取市	陸上競技 (走幅跳)	10月23日(金) 愛知県名古屋市瑞穂公園陸上競技場

とっとり弥生の王国フェスタの開催等について

令和8年10月8日
とっとり弥生の王国推進課

令和8年度「とっとり弥生の王国フェスタ」について、むきばんだ史跡公園及び青谷かみじち史跡公園においてそれぞれ開催しますので、次のとおり報告します。あわせて、「とっとり弥生の王国シンポジウム2026」の開催結果について報告します。

1 とっとり弥生の王国フェスタの開催

(1) むきばんだフェスタ

県内外の考古系施設による「特別古代体験」や、竪穴住居や高床倉庫が複数復元されている「弥生のムラ」一体を会場にしての「ステージイベント」のほか、昨年度に続いて様々な店が集う「よなご・マルシェ」を開催する。また、当日限定で「むきばんだフェスタ・インスタグラム写真コンクール」を開催する。

[日時] 10月11日(日) 午前10時から午後4時まで

[会場] むきばんだ史跡公園(大山町妻木1115-4)

[内容]

ア 特別古代体験

県内外11団体による古代の石版アートづくりやアクセサリーづくり、土器パズルなどの体験メニューに加え、「むきばんだオリジナル古代衣装」の貸出により、弥生時代の雰囲気づくりの演出を行う。

イ ステージイベント

筋肉自慢の参加者による火おこし対決等を競う「ムキムキ晩田」のほか、令和の弥生人ファッションコンテスト、地元高校生による郷土芸能、アーティストによるライブ等を実施する。

ウ よなご・マルシェ

県内外37団体による飲食や物販、ワークショップを展開。竪穴住居を会場としたアロマリラクゼーション、森での木のぼり体験など、広い史跡公園ならではの趣向をこらした出店も行う。



(ムキムキ晩田)



(ファッションコンテスト)

(2) 青谷かみじちフェスタ

郷土芸能や地元の中高生による吹奏楽演奏などのステージのほか、地元協力店舗による弥生メニューの飲食や物販など青谷地域の魅力を大いに発信するイベントとして開催する。

[日時] 10月24日(土) 午前10時から午後3時まで

[会場] 青谷かみじち史跡公園(鳥取市青谷町吉川17)

[主催] 鳥取県・鳥取市・青谷地域にぎわい創出実行委員会

[内容]

ア 弥生の体験・交流・まなびコーナー

県内外13の考古学施設によるミニチュア銅剣の鋳造、石包丁づくり、歴史クイズなどの古代体験のほか、地元の因州和紙を使ったワークショップや青谷高校の研究発表展示を実施する。また、青谷上寺地遺跡にちなんだクイズラリーの参加者に記念品をプレゼントするとともに、今回初めて子ども向けにポニー乗馬体験、動物ふれあいコーナーを設ける。

イ ステージイベント

地元団体による勝部岩力おどり、日置はねそ踊などの郷土芸能や青谷中学校・青谷高校のコラボによる吹奏楽演奏など地域色豊かな演目を上演する。

ウ あおいち

地元を中心とした37団体の出店により、ジビエ料理やイワナ料理、イガイ飯など弥生時代の雰囲気を味わえる食材を用いた飲食の提供のほか、鹿の角を使ったアクセサリーやI Love あおや37 メンバーズ制作のTシャツなど、地元特産品の物販を行う。



(青谷中・高吹奏楽コラボ)

2 とっとり弥生の王国シンポジウム2026の開催結果

9月20日にヴィレステひえづ(日吉津村日吉津930)において、『弥生時代のリーダー像』と題して開催した。駒澤大学・寺前直人教授(考古学)、同志社女子大学・大西秀之教授(文化人類学)の基調講演のほか、佐賀県、京都府、鳥取県の専門職員による事例報告後、パネルディスカッションとして「弥生時代における地域社会のリーダー像」を実施した。(参加人数:会場108名、オンライン65名)

[参加者アンケートより]

- ・民族学からのアプローチがとてもよかった。
- ・現代社会との関係を想像する内容にとても興味をもった。
- ・県外の弥生遺跡の事例報告とあわせて県内の弥生遺跡を見ていくことはとても興味深いと感じた。